

陰嚢水腫根治術 ～ご案内～

	手術前日(入院)	手術前	手術後	術後1日目	術後2～3日	術後4日目(退院)
食事	(午前の手術の場合) ・22時より絶食・24時より水分禁 (午後の手術の場合) ・食事・水分の制限はありません	(午前の手術) *食事・水分のすべて中止 (午後の手術) *朝食後より食事・水分すべて中止	・手術終了2時間後から水分可 ・手術終了3時間後気分不良がなければ食事可能 (主治医の最終確認が必要)	*食後の制限はありません 	*食事の制限はありません *飲水は積極的に摂って下さい	*食事の制限はありません *飲水は積極的に摂って下さい
安静度	*特に制限ありません	*手術30分前に排尿を済ませてお待ちください *手術着の着用後はお部屋でお待ちください	・手術後は麻酔の副作用が出ないように頭を低くして2時間はベット上安静です(寝返りは可) 	*朝より歩行可能です カテーテル類に注意して下さい	*制限はありません	*制限はありません
清潔	*手術に備えてシャワー浴をしましょう	*当日はシャワー浴はできません		*シャワー浴可能 基本的に制限はありませんが状態に応じて行います	*シャワー浴可 	*シャワー浴可
点滴内服処置	*血圧・脈拍・体温測定を行います *内服の確認 *手術に備え中止になっているものがないか最終確認 	*血圧・脈拍・体温測定を行います *中止薬以外の内服はお飲みください *朝より浣腸を行います *朝より点滴を行います 	*血圧・脈拍・体温測定を行います *手術後の状態に応じて酸素や心電図モニターを装着することがあります *点滴は持続的に行います *術後から尿道カテーテルが留置された状態です *内服薬は中止薬以外は水分開始後より服用再開となります	*血圧・脈拍・体温測定を行います *尿道カテーテルを抜去します *点滴は24時間持続です 	*陰のうに入っているヘンロース(管)を主治医により抜去します *点滴で行っていた抗生剤は内服薬に切り替わります	*血圧・脈拍・体温測定を行います *抗生剤の内服薬は医師から中止の指示がでるまで続けます *中止の指示があった内服薬の再開は医師と確認のうえで開始して下さい 
説明指導	*持参していただく物 ・入院時に必要な生活用品 ・手術同意書類すべて ・入院治療計画書 ・内服薬(のまれているすべての薬) ★当院以外で処方されている内服薬は入院後は当院の内服に切り替わります *個室(有料)希望される方はあらかじめ申し出てください	*家族の方は手術の1時間前までには来院してください *術後管理の目的で部屋が変わることもあります *貴重品は家族の方が管理してください *手術室に入室する前に入れ歯やメガネ装飾品は外してください	*腰より麻酔を行っています。下半身に力が入りにくくなっています。徐々に良くなっていきますが改善の見られない場合はお知らせ下さい *尿道カテーテルが入っており違和感があります。痛みが強い場合や下腹部の張りが強い場合にはお知らせ下さい *尿道カテーテルより尿をバック内に入れてあります。血尿がみられることがあります。徐々にうすくなってきます	*尿道カテーテルを抜去後排尿の確認をしますが、6時間以上排尿がない場合や下腹部の張りが強い場合、腹痛がある場合は必ずお知らせ下さい *カテーテル抜去後に頻尿や残尿、尿漏れなどの症状がある場合がありますが徐々に改善します *血尿が強い時などは飲水を多く取って下さい(目標1日2000ml以上) 	*ヘンロース(管)を抜去後はガーゼにて保護しますが、シャワー浴にて清潔に保つよう请您にしてください(洗浄方法は看護師により指導いたします)	*退院後に 排尿困難、腹痛、下腹部膨満感や発熱 などの異常があった場合は病院受診をして下さい *退院後長時間のドライブや座位及び重たい物を持つなどの重労働は控えて下さい *次回外来受診日と退院処方を確認して下さい *退院の会計は10時～11時となっています  